



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月22日

上場会社名 株式会社 オービック
 コード番号 4684 URL <http://www.obic.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 2019年8月6日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 橘 昇一
 (氏名) 松下 祐二
 TEL 03-3245-6510

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	19,414	9.9	10,402	17.2	11,533	14.1	10,421	26.7
2019年3月期第1四半期	17,660	13.4	8,875	18.9	10,112	20.6	8,223	27.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 10,470百万円 (28.9%) 2019年3月期第1四半期 8,125百万円 (21.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	117.16	
2019年3月期第1四半期	92.44	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	246,088	222,053	90.2	2,496.37
2019年3月期	244,909	218,476	89.2	2,456.16

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 222,053百万円 2019年3月期 218,476百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		57.50		77.50	135.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		70.00		70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	7.9	41,000	8.1	45,100	7.6	32,300	0.2	363.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	99,600,000 株	2019年3月期	99,600,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	10,649,488 株	2019年3月期	10,649,488 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	88,950,512 株	2019年3月期1Q	88,950,606 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2019年4月23日発表の通期連結業績を修正していません。上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. 補足資料	10
受注及び売上の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出や生産の弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、通商問題の動向が世界経済に与える影響に一層注意するとともに、中国経済の先行きや海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響など景気の先行き不透明な状況に留意が必要です。

当情報サービス業界においては、働き方改革への取り組みなどを背景に、企業の生産性向上や業務効率化を目的としたシステムの更新投資需要は引き続き高い状態にあるものの、先行き不透明な景況感の中で投資判断には慎重さが見られました。企業のニーズは「効率的でコストパフォーマンスの高い情報システム」にあり、さらなる顧客目線でのシステム提案が求められております。

当社は、このような状況の中、自社開発・直接販売にこだわり続け、顧客企業の経営効果を実現するため、製販一体体制のもと顧客満足度を高めるべく努めてまいりました。当社の主力である統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、会計を中心に統合的に情報を管理するERPシステムとして、様々な業界・業種の企業に幅広く求められました。主な傾向として、大企業向けのシステム構築が引き続き順調に推移しております。業種・業務別のソリューションに関しても、金融業向け、サービス業向け、流通業向け、製造業向け等、業種を問わずシステム構築の引き合いが強まりました。システムの短期導入、早期稼働につながりやすいとして年々引き合いが強まっているクラウドサービスのニーズにも、自社運営のクラウドセンターでアプリケーションからインフラまで一貫したサービスを提供し対応しております。また、クラウド関連施設の設備増強やセキュリティ・サービス強化、顧客向け研修施設の拡張など付加価値向上につながる先行投資も継続して進めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高194億14百万円(前年同期比9.9%増)、営業利益104億2百万円(同17.2%増)、経常利益は115億33百万円(同14.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は104億21百万円(同26.7%増)となりました。

今後も当社は、顧客第一主義のもと、よりコストパフォーマンスの高いシステム提案ビジネスに注力し業績の向上に努めてまいり所存であります。

セグメントの業績は次の通りであります。

(A) システムインテグレーション事業

主力の統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、統合的に情報を管理するERPシステムとして、様々な業界・業種の企業に求められました。主な傾向として、大企業向けのシステム構築が引き続き順調に推移しております。

この結果、外部顧客に対する売上高は98億32百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益は50億96百万円(同8.8%増)となりました。

(B) システムサポート事業

主力サービスであるシステムの「運用支援サービス」および「クラウドソリューション」が好調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は73億84百万円(前年同期比15.9%増)、営業利益は49億28百万円(同27.2%増)となりました。

(C) オフィスオートメーション事業

業務用パッケージソフトの販売が好調に伸長したことに加え、印刷サプライやオフィス家具等の販売も堅調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は21億97百万円(前年同期比10.3%増)、営業利益は3億77百万円(同20.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計残高については、前連結会計年度末比で11億79百万円増加し2,460億88百万円となりました。これは主に、現金及び預金が32億30百万円減少したことと、建設仮勘定が39億32百万円増加したことによるものであります。

負債合計残高は、23億97百万円減少し240億35百万円となりました。これは主に、未払法人税等が37億71百万円減少したことによるものであります。

純資産合計残高は、35億76百万円増加し2,220億53百万円となりました。これは主に、利益剰余金が35億27百万円増加したことによるものであります。結果、自己資本比率は90.2%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は1,167億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ、32億30百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、50億61百万円であります。これは主に税金等調整前四半期純利益が135億28百万円計上されたほか、利息及び配当金の受取額が9億72百万円計上された一方で、法人税等の支払が68億22百万円発生したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、13億98百万円であります。これは主に有形固定資産の取得による支出が39億54百万円計上されたこと及び償却債権の回収による収入が24億98百万円計上されたことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、68億93百万円であります。これは配当金の支払によるものであります。

なお、今後とも資金を企業の業績伸長のため有効に使用しつつ、「効率経営」に努めてまいり所存であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は中長期的に安定した企業の発展を考え、業績のオペレーションを行っております。当第1四半期連結会計期間末現在、業績は概ね順調に推移しております。よって、2019年4月23日に公表しました業績予想の見直しは行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	119,972	116,741
受取手形及び売掛金	9,626	9,986
商品及び製品	142	162
仕掛品	210	129
原材料及び貯蔵品	40	18
その他	1,135	969
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	131,125	128,005
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,012	2,984
土地	27,849	27,849
建設仮勘定	15,788	19,721
その他(純額)	1,097	1,014
有形固定資産合計	47,747	51,570
無形固定資産		
その他	106	105
無形固定資産合計	106	105
投資その他の資産		
投資有価証券	61,663	61,834
その他	4,270	4,580
貸倒引当金	△4	△6
投資その他の資産合計	65,929	66,407
固定資産合計	113,784	118,083
資産合計	244,909	246,088

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,029	3,641
未払法人税等	7,188	3,416
賞与引当金	2,372	3,318
その他	5,390	6,283
流動負債合計	18,981	16,660
固定負債		
退職給付に係る負債	6,290	6,239
資産除去債務	187	187
その他	974	947
固定負債合計	7,451	7,375
負債合計	26,432	24,035
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,178	19,178
資本剰余金	19,530	19,530
利益剰余金	196,183	199,711
自己株式	△22,139	△22,139
株主資本合計	212,752	216,280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,553	7,571
土地再評価差額金	△1,705	△1,705
退職給付に係る調整累計額	△124	△93
その他の包括利益累計額合計	5,723	5,772
純資産合計	218,476	222,053
負債純資産合計	244,909	246,088

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	17,660	19,414
売上原価	5,378	5,739
売上総利益	12,282	13,675
販売費及び一般管理費	3,406	3,273
営業利益	8,875	10,402
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	277	283
持分法による投資利益	929	848
受取賃貸料	0	0
その他	63	32
営業外収益合計	1,271	1,166
営業外費用		
賃貸費用	33	35
その他	1	—
営業外費用合計	34	35
経常利益	10,112	11,533
特別利益		
償却債権取立益	960	2,498
その他	0	1
特別利益合計	960	2,499
特別損失		
償却債権取立費用	—	500
その他	0	4
特別損失合計	0	504
税金等調整前四半期純利益	11,072	13,528
法人税、住民税及び事業税	2,999	3,285
法人税等調整額	△149	△178
法人税等合計	2,849	3,107
四半期純利益	8,223	10,421
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,223	10,421

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	8,223	10,421
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△402	△43
退職給付に係る調整額	△8	16
持分法適用会社に対する持分相当額	314	75
その他の包括利益合計	△97	49
四半期包括利益	8,125	10,470
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,125	10,470
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,072	13,528
減価償却費	135	142
持分法による投資損益(△は益)	△929	△848
償却債権取立益	△960	△2,498
賞与引当金の増減額(△は減少)	943	946
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△91	△100
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	70	△26
受取利息及び受取配当金	△278	△284
売上債権の増減額(△は増加)	△222	△360
たな卸資産の増減額(△は増加)	75	82
仕入債務の増減額(△は減少)	△24	△387
その他	305	716
小計	10,098	10,911
利息及び配当金の受取額	821	972
法人税等の支払額	△5,557	△6,822
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,362	5,061
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,523	△3,954
無形固定資産の取得による支出	△15	△6
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	—	200
償却債権の回収による収入	960	2,498
その他	228	△136
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,352	△1,398
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△6,004	△6,893
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,004	△6,893
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,993	△3,230
現金及び現金同等物の期首残高	109,458	119,972
現金及び現金同等物の四半期末残高	107,464	116,741

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足資料

受注及び売上の状況

①受注実績

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
システムインテグレーション事業	8,248	47.2	9,698	47.8	1,450
システムサポート事業	7,152	40.9	8,291	40.9	1,139
オフィスオートメーション事業	2,084	11.9	2,303	11.3	218
合 計	17,485	100.0	20,293	100.0	2,807

②売上実績

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
システムインテグレーション事業	9,299	52.6	9,832	50.7	532
システムサポート事業	6,368	36.1	7,384	38.0	1,015
オフィスオートメーション事業	1,992	11.3	2,197	11.3	205
合 計	17,660	100.0	19,414	100.0	1,753

以上